RICOH

IPSiO Color 8150

使用説明書
〈システム設定編1〉

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

株式会社リコー

使用説明書＜システム設定編2＞（PDFファイル）では、「プリントサーバーの準備方法」、「機器の監視と設定方法」、「Q&A」、「プリンター本体の操作パネルの使用方法」などを詳しく説明しています。ご参照ください。

複製、印刷が禁止されているもの

- 本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
- 1. 複製、印刷することが禁止されているもの
- （見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

* 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
* 日本や外国の郵便切手、印紙

☛（関係法律）
  - 紙幣類似証券取締法
  - 通貨及証券模造取締法
  - 郵便切手類模造等取締法
  - 印紙等模造取締法
  - （刑法 第１４８条 第１６２条）

- 2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

* 外国の紙幣、貨幣、銀行券
* 株券、手形、小切手などの有価証券
* 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
* 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

☛（関係法律）
  - 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
  - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

- 3. 著作権法で保護されているもの

* 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに掲げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

- 低電力機能
  - 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費が低くなります。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
  - 省エネモードの設定時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定メニューの変更のしかたは、使用説明書<システム設定編2>「操作パネルを使用する」を参照してください。
  - 機能の仕様

低電力機能	消費電力	15W以下
	省エネモードへの移行時間	60分

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

電波障害自主規制、高調波ガイドライン

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

目次

1. はじめに

2. 本機を使うための準備

3. 環境別セットアップガイド

4. 付録

IPSiO Color 8150の特長

フルカラー 28枚/分の高速出力

4連タンデムプリントエンジンにより、フルカラー 28枚/分の高速出力を実現。会議資料、販促チラシなどのフルカラー出力をモノクロプリンターと同じ感覚で 行うことができます。ファーストプリントも12秒以下なので複数部数だけでなく、1枚目から高速出力を実感することができます。またモノクロモードでは38枚/分と高速モノクロレーザー同等の速度を実現しており、カラー /モノクロ兼用のネットワークプリンターとしてご活用いただくことが可能です。

リアル1200dpiの高画質出力

リアル1200×1200dpiの高解像度で、一般文書、デジタルカメラやスキャナーなどのデータを取り込んだ写真入りの文書、グラフィックまで高精細に出力します。また、ファーストプリントも 12 秒以下14ppmという高速出力が可能です。

新世代コントローラーによる多彩な機能

新アーキテクチャーを採用した高速 64bit コントローラーと Windows に最適化された新コマンド体系「RPCS」により、高速出力を実現します。また、パスワードを入力しないと出力されない「機密印刷 [*1]」や、プリンターの印刷枚数を管理し、利用者ごとに使用枚数を制限すること [*1] なども可能です。カラープリンターならではの管理者ニーズにお応えします。

*1 **オプション**

クラス初のフィニッシャー対応

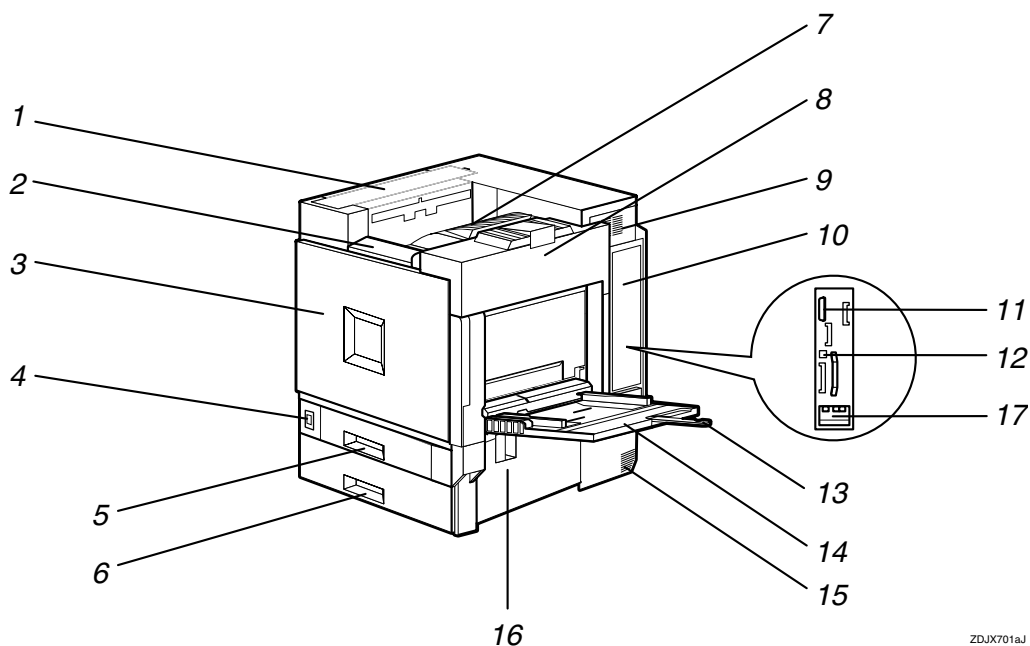
両面印刷 [*1]、電子ソート印刷 [*1] への対応はもちろん、このクラスで初めて フィニッシャー [*1] による後処理印刷にも対応します。両面印刷、ステープル、パンチなど、一度の指示で必要部数を必要な形態で高速に出力することが可能です。これまでのカラー文書のワークフローを大幅に改善します。

*1 **オプション**

高耐久性＆簡単メンテナンス

最大印刷枚数150万枚という高耐久性を実現しました。また、プリンター上部から簡単に交換できるトナーカートリッジを始め、消耗品はすべて交換が簡単なユニット構造になっています。日常操作はもちろん、前面からのメンテナンスの実施も可能で、アプライアンスの高い構造となっています。

各部の名称とはたらき

全体

1. **4ピンプリントポスト接続部カバー**

4ピンプリントポストを取り付けるときに取り外します。

2. **操作パネル**

キーを使用してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

⇒ P.9 「操作パネル」

3. **本体前カバー**

現像ユニットや感光体ユニットを交換するときに開けます。本体前カバーに専用ねじ回しが格納されています。

4. **電源スイッチ**

プリンターの電源をON/OFFします。

5. **給紙トレイ1（標準）**

用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。A4▯ 専用の給紙トレイです。

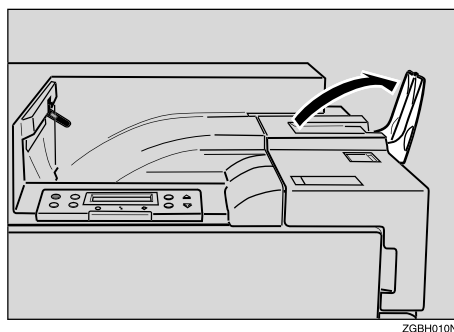
6. **給紙トレイ2（標準）**

用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。

7. **本体排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

補足

❒ 印刷されたA3や11×17の用紙が本体排紙トレイから落下する場合は、フェンスを起こしてください。

8. **本体右上カバー**

トナーをセットするときに開けます。

9. **排気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

10. **コントローラーボード**

SDRAM モジュールや拡張エミュレーションモジュールなどを取り付けるときに、このボードを引き出します。

11. **パラレルインターフェースコネクター**

プリンターとパソコンに接続するパラレルインターフェースケーブルを接続します。

12. **イーサネットケーブルコネクター**

プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

13. **用紙支持板**

A4▱ より大きい用紙を手差しトレイにセットするときに、この支持版を引き出します。

14. **手差しトレイ**

普通紙のほかに、厚紙、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大100枚までセットできます。

15. **吸気口**

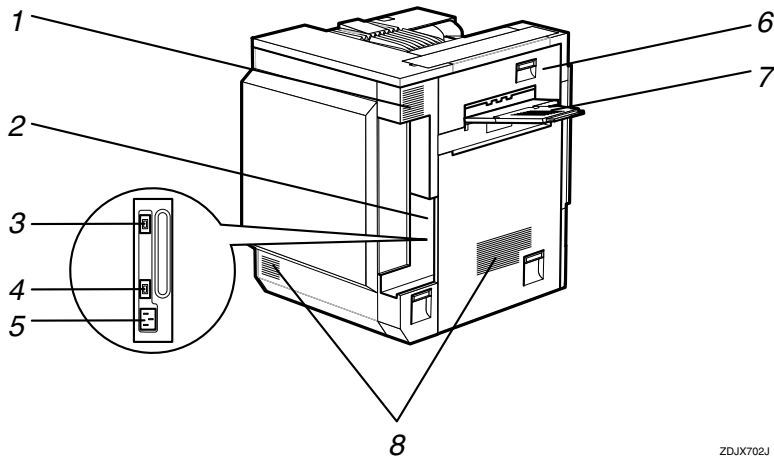
機械内部の温度上昇を防ぐために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

16. **本体右下カバー**

つまった用紙を取り除くときに開けます。

17. **CSS回線接続端子**

使用説明書＜保守・運用編＞「カウンター検針について」を参照してください。

背面

1. **排気口/防じんフィルター**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。内部の防じんフィルターを交換するときには、排気口の防じんフィルターを取り外します。

2. **コネクター**

プリンター本体の電源ケーブルや、各オプションからのケーブルを接続します。

3. **両面印刷ユニット用コネクター**

両面反転ユニットのケーブルを接続します。

4. **4ピンプリントポスト/2000枚フィニッシャー用コネクター**

4ピンプリントポストまたは2000枚フィニッシャーのケーブルを接続します。

5. **本体電源コネクター**

プリンター本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、コンセントに差し込みます。

6. **本体左上カバー**

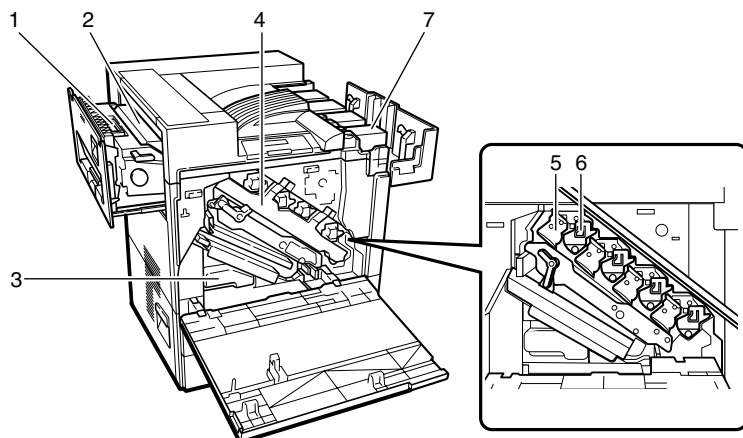
つまった用紙を取り除くときや、定着ユニットを交換するときに開けます。

7. **本体左上排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷された面を上にして排紙されます。

8. **吸気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

内部

1. **定着ユニット**

トナーを用紙に定着させるためのユニットです。

「テイチャクコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

2. **定着オイルユニット**

定着ユニットに取り付けるオイルユニットです。

「テイチャクオイルコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

3. **廃トナーボトル**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

「ハイトナーコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

4. **中カバー**

感光体ユニット、現像ユニットを交換するときに開けます。

5. **感光体ユニット**

ブラック用の感光体ユニットが1本、カラー用の感光体ユニットが3本セットされています。

「C カンコウタイコウカン」というメッセージが表示されたら、感光体ユニットカラー（計3本）を交換します。「BKカンコウタイコウカン」というメッセージが表示されたら、感光体ユニットブラックを交換します。

6. **現像ユニット**

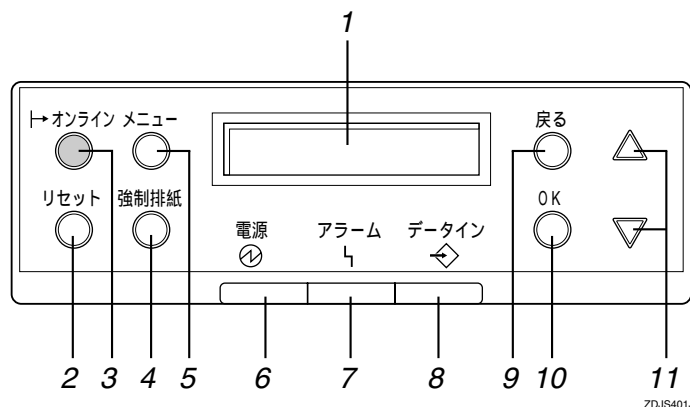
ブラック用の現像ユニットが1本、カラー用の現像ユニットが、イエロー、シアン、マゼンタ各1本セットされています。

「C ゲンゾウユニットコウカン」というメッセージが表示されたら、現像ユニットカラー（計3本）を交換します。「BKゲンゾウユニットコウカン」というメッセージが表示されたら、現像ユニットブラックを交換します。

7. **トナーカートリッジ**

プリンター本体奥から、マゼンタトナーカートリッジ(M)、シアントナーカートリッジ(C)、イエロートナーカートリッジ(Y)、ブラックトナーカートリッジ(K)の順番にセットします。

トナー補給のメッセージが表示されたら交換します。

操作パネル

1. **ディスプレイ**

プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

2. **【リセット】キー**

印刷中または受信中のデータを取り消します。

3. **オンラインランプ/【オンライン】キー**

ランプの点灯状態によって、プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かが示されます。キーを押すと、オンラインとオフラインが切り替わります。

オンライン状態はパソコンからデータを受信できる状態で、ランプは点灯します。

オフライン状態はパソコンからデータを受信できない状態で、ランプは消灯します。

各項目の設定中に**【オンライン】**キーを押すと、通常の画面に戻ります。

4. **【強制排紙】キー**

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に強制的に印刷することができます。

5. **【メニュー】キー**

プリンターに関する設定を操作パネルで行うときに、始めにこのキーを押して、メニューに入ります。

6. **電源ランプ**

電源が入ってるときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

7. **アラームランプ**

エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

8. **データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときは点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

9. **【戻る】キー**

設定を有効にせずにメニューの上位の階層に戻したいときや、メニューから通常の表示に戻したいときに押します。

10. **【OK】キー**

設定や設定値を確定したり、メニューの下位の階層に移動します。

11. **【▲】、【▼】スクロールキー**

表示画面をスクロールしたり、設定値を増減します。キーを押し続けると表示を早くスクロールしたり、数値を10単位で増減することができます。

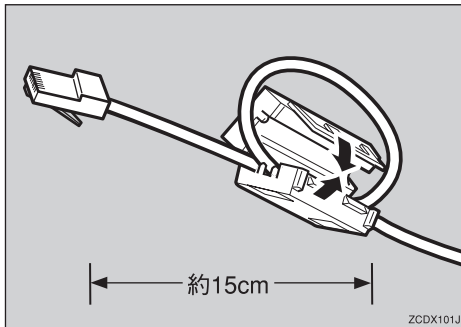
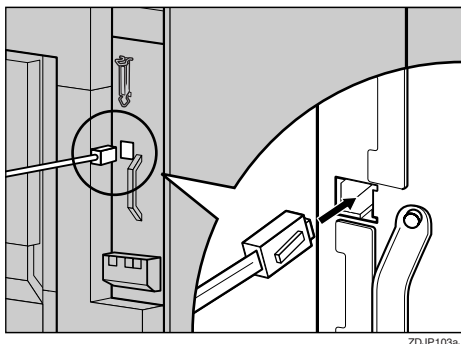
パソコンと接続する

ネットワークに接続する

HUBなどのネットワーク機器を準備してから、本機にEthernet用インターフェースケーブルを接続します。

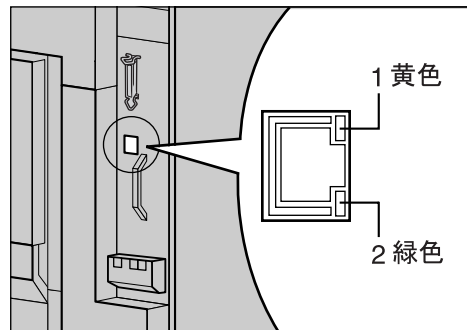
イーサネットボードには10BASE-Tまたは100BASE-TXのケーブルを接続します。

1 **本機の電源を切ります。**

2 **本機には Ethernet 用インターフェースケーブルに取り付けるコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターから約15cmの位置に、図のような1重の輪を作り、コアを取り付けます。**

3 **プリンター本体右側面のEthernet用インターフェースコネクターにEthernet用インターフェースケーブルのコネクターを接続します。**

4 **HUB（ハブ）などのネットワーク機器にケーブルのもう一方のコネクターを接続します。**

参照

ネットワーク環境の設定については、P.19「環境別セットアップガイド」を参照してください。

LEDの見かた

1. 100BASE-TX**の動作時は点灯し、**10BASE-T**の動作時は消灯します。**
2. **ネットワークに正常に接続していると、点灯します。**

パラレル接続する

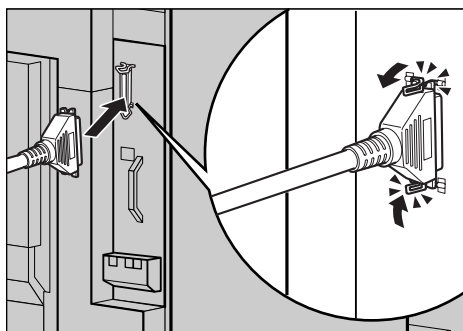
パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">DOS/V機、PC98-NXシリーズ</td><td>タイプ4Bケーブル※</td></tr>
<tr><td>タイプ4Sケーブル※</td></tr>
<tr><td>USB変換プリンターケーブル※</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PC9800シリーズ</td><td>パソコンにインターフェースケーブルが付属しているとき</td><td>付属品を使用する</td></tr>
<tr><td>インターフェースケーブルが付属していないとき</td><td>パソコン側がハーフピッチ36ピンのときはタイプ1Bケーブル※</td></tr>
<tr><td colspan="2">PC98ノート</td><td>NEC専用のインターフェースケーブル
（NEC製「PC-9801N-19」または「LXT3」）</td></tr>
</table>

補足

- ※印のついているインターフェースケーブルは、リコーで取り扱っているインターフェースケーブルです。使用説明書＜システム設定編2＞「付録」を参照してください。

1 本機とパソコンの電源を切ります。

2 プリンター本体右側面のパラレルインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのコネクターを接続し、両側の金具で固定します。

ZDJH033aJ

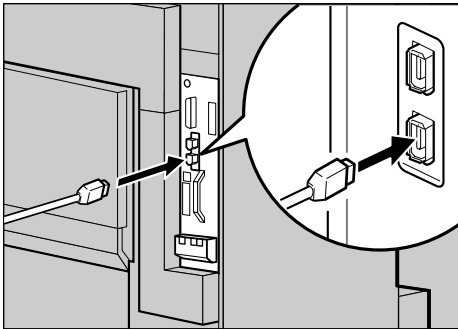
3 パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

参照

パラレル接続して印刷する場合の設定については、使用説明書＜プリンタークライアント編1＞を参照してください。

拡張1394インターフェースに接続する

1 **拡張1394ボードのコネクターにIEEE1394インターフェースケーブルの一方のコネクターを接続します。**

ZDJP500aJ

補足

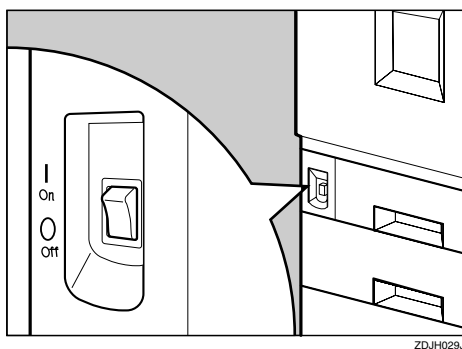
- ❒ 拡張1394ボードのコネクターは上下どちらでも接続可能です。

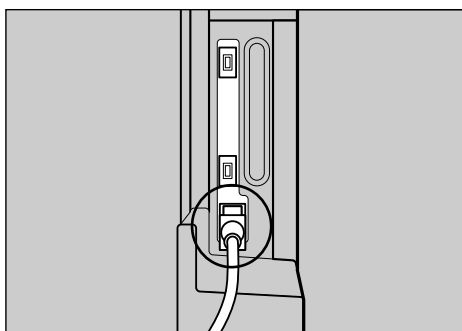
2 **パソコンにケーブルのもう一方を接続します。**

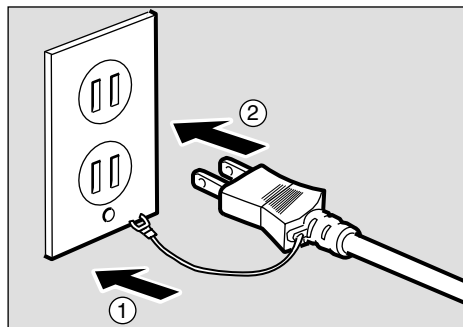
電源の入れかた

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

1 電源が「○ Off」側になっていることを確認します。

ZDJH029J

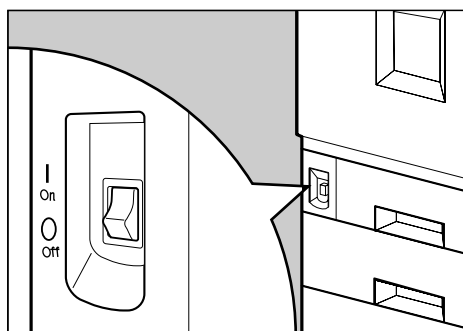
2 電源ケーブルを、プリンター本体背面の電源コネクターに接続します。

ZDJH030J

3 アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。

ZDJX003J

重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

4 電源スイッチを「❙ On」側にします。

操作パネルの電源ランプが点灯します。

ZDJH031J

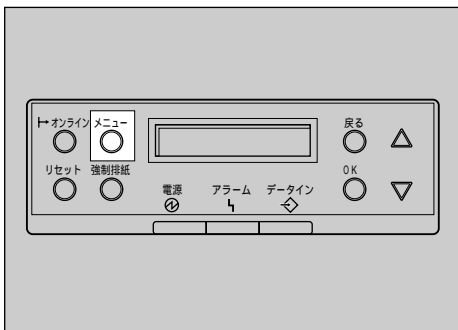
操作部を使って設定する

使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作パネルで設定します。

ネットワーク設定メニューで設定できる項目と工場出荷時の値は、以下のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.IPアドレス	011.022.033.044
2.サブネットマスク	0.0.0.0
3.ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
4.アクセスコントロール	0.0.0.0
5.アクセスマスク	0.0.0.0
6.ネットワークブート	しない
7.NWフレームタイプ	自動選択
8.有効プロトコル	すべて有効 • TCP/IP • NetWare • NetBEUI • AppleTalk
9.イーサネット速度 *1	自動設定

*1 **使用説明書＜システム設定編２＞「操作パネルを使用する」を参照してください。**

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

3 使用するプロトコルを有効にします。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ

❷ **【▲】または【▼】キーを押して「8.ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<ネットワークセッテイ>
8.ユウコウプロトコル

❸ **【▲】または【▼】キーを押して使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。**

<ユウコウプロトコル>
1.TCP/IP

ここでは TCP/IP を有効にする例で説明します。

❹ **【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<TCP/IP>
*ユウコウ

約2秒後、有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

❺ **使用するプロトコルを続けて設定します。**

❻ **有効にするプロトコルの設定が終了したら、【戻る】キーを押します。**

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定はすべて有効に設定されています。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことをお勧めします。
- ❒ NetWare 5.1Jのピュア IP環境でご使用になる場合は、TCP/IP プロトコルを有効に設定してください。

4 TCP/IP プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。

補足

- ❒ 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「1.IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
1.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ❒ 変更の必要がないときは、【OK】キーを押すと次のフィールドに移動します。
- ❒ 【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。

❷ **【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。**

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
199.  0.  0.  0
```

❸ **【OK】キーを押します。**

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
199.  0.  0.  0
```

❹ **❷〜❸を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。**

補足

- ❒ 1 つ前のフィールドに移動するときは、【戻る】キーを押します。

5 TCP/IP を使用するときは、IP アドレスの設定と同様の手順で「2. サブネットマスク」〜「5.アクセスマスク」までの項目を設定します。

6 TCP/IP プロトコルで DHCP を使用するときは、ネットワークブートの設定をします。

❶ **【▲】または【▼】キーを押して「6.ネットワークブート」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
6.ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾞｰﾄ
```

❷ **【▲】または【▼】キーを押して「DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾞｰﾄ
*DHCP
```

約 2 秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

参照

DHCPを使用するときは、使用説明書＜システム設定編2＞「付録」を参照してください。

7 NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは、以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNET2
- ETHERNETSNAP

補足

- ❒「自動選択」では、起動時に最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって、複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。その場合は、使用したいフレームタイプを選択してください。

❶ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して「7.NW フレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
&lt;ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ&gt;
7.NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
```

現在の設定が表示されます。

❷ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。**

```
&lt;NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ&gt;
*ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ
```

約2秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

9 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、使用説明書＜システム設定編2＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

これ以降の設定については、使用説明書＜システム設定編2＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

アドレスについて

❖ サブネットマスク

IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ ゲートウェイアドレス

別のネットワークのワークステーションとのやり取り（印刷や情報の取得）を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

補足

- ❒ 設定するアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

アクセスコントロールについて

アクセスコントロールとアクセスマスクは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。

補足

- ❒ アクセスコントロールをマスクした結果と、印刷しようとしているワークステーションのアドレスをマスクした結果が一致した場合にアクセスを許可します。
- ❒ たとえば、アクセスコントロールを192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なワークステーションのアドレスはマスク値によって次のようになります（XXXはどんな数値でもかまいません）。

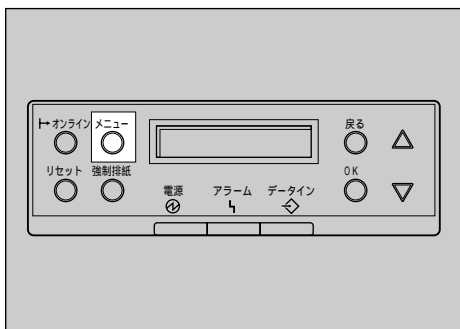
アクセスコントロール	アクセス可能なアドレス
0. 0. 0. 0	XXX. XXX. XXX. XXX
255. 0. 0. 0	192. XXX. XXX. XXX
255. 255. 0. 0	192. 168. XXX. XXX
255. 255. 255. 0	192. 168. 15. XXX
255. 255. 255. 255	192. 168. 15. 16

2

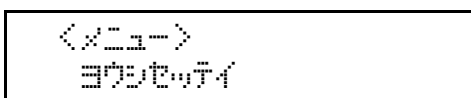
テスト印刷する

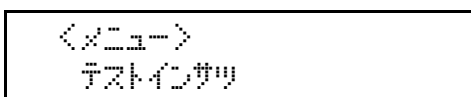
プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここではシステム設定リストの印刷を例に説明します。

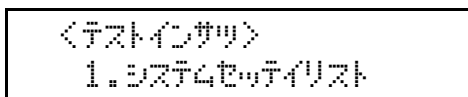
1 **【メニュー】キーを押します。**

ZDJS001J

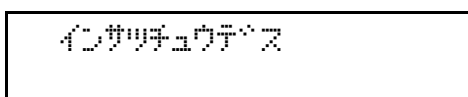
メニュー画面が表示されます。

<メニュー>
ヨウシセッテイ

2 **【▲】【▼】キーを押し、「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<メニュー>
テストインサツ

テスト印刷する内容を選択する画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押し、「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。**

<テストインサツ>
1.システムセッテイリスト

次の画面が表示され、システム設定リストが印刷されます。

インサツチュウデス

補足

- ❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」を参照して、エラーの対処をしてください。

4 **オプション構成を確認します。**

補足

- ❒ システム設定リストの詳細については、使用説明書＜システム設定編 2 ＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

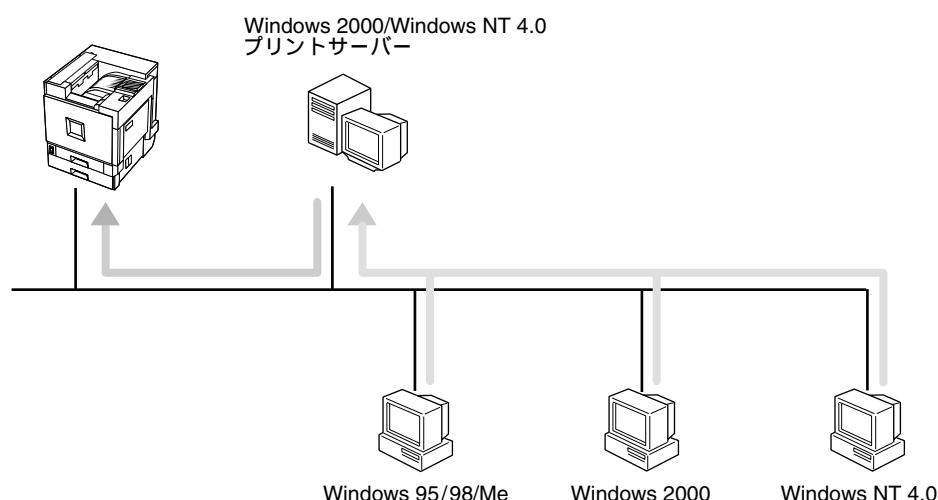
5 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

3. 環境別セットアップガイド

ご使用のネットワーク環境によって、セットアップ方法が異なります。対応する部分をお読みの上、正しく設定してください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/Windows NT 4.0サーバーを使って印刷する

1 Windows 2000/Windows NT 4.0**とプリンター間のプロトコルを決定します。**

2 **プリンターの操作パネルで、プロトコルを設定します。**

参照

P.15 「操作部を使って設定する」を参照してください。

3 **プロトコルの準備をします。**

参照

使用説明書<システム設定編2>「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

4 Ridoc IO Navi**とプリンタードライバーをインストールします。**

参照

使用説明書<システム設定編2>「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

5 **プリンターの共有設定を行います。**

参照

使用説明書<システム設定編2>「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

6 クライアントでプリンターを共有します。

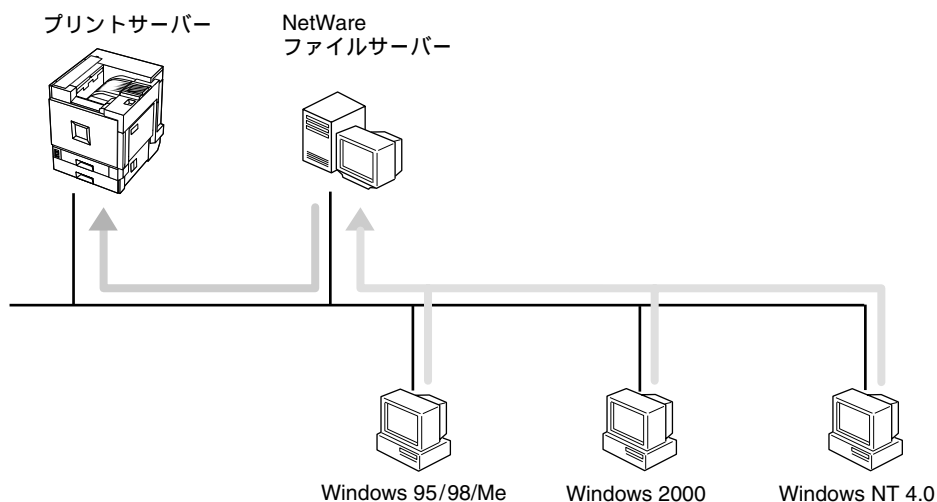
参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

NetWareのプリントサーバーを使って印刷する

プリントサーバーとして使用する場合とリモートプリンターとして使用する場合の設定方法について説明します。

プリントサーバーとして使用する場合

NetWareの環境でプリンターを使用する場合、プリンターにプリントサーバーの機能を持たせることができます。このとき、専用のNetWareプリントサーバーは必要ありません。

1 プリンターの操作パネルで、NetWareを設定します。

参照

P.15 「操作部を使って設定する」を参照してください。

2 NetWareでプリンターを設定します。NetWareのバージョンによって、プリンターのセットアップ方法が異なります。

参照

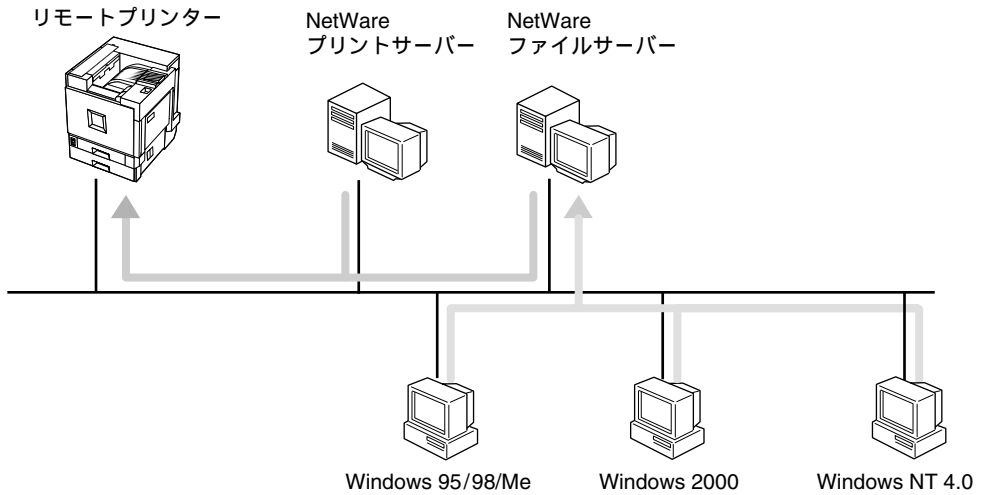
使用説明書<システム設定編2>「NetWareサーバーを準備する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

リモートプリンターとして使用する場合

専用のプリントサーバーを使用するときは、プリンターをリモートプリンターとして設定します。

1 プリンターの操作パネルで、NetWareを設定します。

参照

P.15 「操作部を使って設定する」を参照してください。

2 NetWareでプリンターを設定します。Netwareのバージョンによって、プリンターのセットアップ方法が異なります。

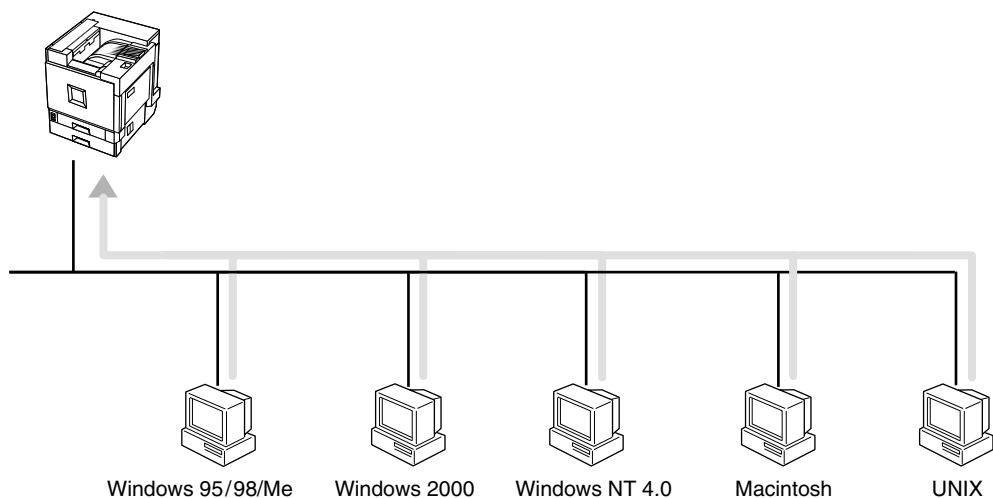
参照

使用説明書<システム設定編2>「NetWareサーバーを準備する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

1 使用するプロトコルを決定します。

2 プリンターの操作パネルで、プロトコルを設定します。

参照

P.15 「操作部を使って設定する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>および<プリンタークライアント編2>を参照してください。

搭載されているソフトウェアの著作権に関する情報

expat(Version 1.1)について

expat(Version 1.1). Copyright © 1998, 1999 James Clark. All rights reserved.

- 本製品に搭載しているコントローラーなどのソフトウェア（以下、ソフトウェアといいます）には、expat Version 1.1(以下 expat1.1)を使用しています。
- ソフトウェアに利用されている expat1.1 のソースコードに対し、株式会社リコーは改変を行っておりません。なお、expat1.1のソースコードは、次のURLが示すFTPサイトより入手可能です。
  ftp://ftp.jclark.com/pub/xml/expat1_1.zip
- expat1.1 は MPL1.1 に従って公開されています。なお、MPL1.1の条件は、次のURLが示すWebサイトより入手可能です。
  http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html
- ソフトウェアは MPL1.1 に定義される Larger Work に相当します。ソフトウェアの利用に関し、MPL1.1 と異なる使用許諾条件が定められている場合、当該規定はソフトウェアより expat1.1 を除いた部分に対して適用されます。
- ソフトウェアの使用に関して、お客様に使用料などをご負担いただく場合、当該使用料などはソフトウェアより expat1.1 を除いた部分に対して課せられています。
- expat1.1を含むソフトウェアに関するサポートと保証などは株式会社リコーが行うものであり、expat1.1の開発者であるJames Clark氏には一切の責任および義務はありません。
- expatに関する情報は次のURLが示すWebサイトより入手可能です。
  http://www.jclark.com/xml/expat.html

NetBSDについて

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors

JPEG LIBRARYについて

The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

商標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Macintosh、AppleTalkは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0*

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

無断転載禁止 © 2002 RICOH CO., LTD.

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

IPSiO Color8150 使用説明書〈システム設定編1〉

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご相談ください。修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

0120-56-1240（コールはイプシオ）

● 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページまたは@niftyのリコーファンフォーラムから入手することができます。
● インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/
● @nifty/リコーファンフォーラム：>GO FRICOH

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

2002年1月　G077-8569